

< 校内研修 >

## 第65回 全病連【栃木大会】

# 主題 児童生徒個々のニーズに応じた生きる力を 育む病弱教育の在り方

～すべての子どもたちの学びの充実に向けて～

### ○大会目的

病弱虚弱教育関係者をはじめ学校教育に携わる者が、日ごろの教育実践やその中で抱えている様々な課題について研究発表・討議し、病弱虚弱教育の深化と充実を図り、加えて今後の特別支援教育における病弱の子どもたちの教育のあり方を探る。

(大会ホームページより引用)

上記の目的のもと、標記研究大会が、オンライン上で開催されました。

桜が丘特別支援学校では、開催期間中に各自で発表等を視聴しました。

その中で、「病弱教育の現代的意味」と題し、日本大学文理学部教育学科教授 西牧 謙吾 氏による記念講演が行われました。特別支援教育の歴史に病弱教育を重ね、これまで先人たちが培ってきたものと、これからの病弱児教育に必要となることを、たくさんの資料と併せて御講演いただきました。講演を視聴し、子供と教師の信頼関係づくりの重要性や、「不登校の児童生徒が『学校に行くこと』ばかりに目を向けて、心の育ちをおろそかにしていないか」といった警鐘など、多くの気付きを得ることができました。併せて、分科会においても、各校工夫を凝らした実践事例が挙がっていました。2学期からの授業や指導など、本校での実践に生かしていきたいと思えます。

